

指定管理者自己評価結果

指定管理者	特定非営利活動法人ほうじょう
指定管理施設	大東市立北条コミュニティセンター
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
管理体制	正職員 3名 臨時職員 15名 等
職員の勤務状況	正職員はシフト制、臨時職員は短時間勤務

1. 施設のサービス水準等

(1) 業務内容

項目	内容	協定事項等	実施状況 (実績値等)	サービス状況 (課題・達成度等)
運営業務	休館日・開館時間	休館日 ①毎月第2・第4水曜日 (その日が国民の祝日 のときは、その翌日) ②12月29日から翌年1 月3日までの期間 開館時間 午前9時から 午後9時まで	大東市立北条コミュニティセン ター条例および大東市立北 条コミュニティセンター指定管 理者業務仕様書に基づき、 適正に対応しました。	大東市立北条コミュニティセン ター条例および大東市立北 条コミュニティセンター指定管 理者業務仕様書に基づき、 適正に対応しました。
	窓口受付時間	開館中は午前9時から午 後8時30まで受付対応 する	センター長、副センター長、係 員を配置し、適切な窓口担 当を行いました。	地域のコミュニティセンターの窓 口としての対応を行いました。
	料金設定	大東市立北条コミュニテ ィセンター条例第17条、大 東市立北条コミュニテ ィセンター指定管理者業務仕 様書によるもの	条例、仕様書に基づいて適 正に処理いたしました。	条例、仕様書に基づいて適 正に処理いたしました。
	広報・宣伝	ホームページおよび Facebook ページの維持 管理	ホームページおよび Facebook に発信し、自主 事業への参加を呼びかけた。	新型コロナウイルスによる休館 がなかったこともありますが、 SNS を活用した事業の宣伝 を行った結果、来館者・利用 者が185%増加しました。 (前年比)

項目	内容	協定事項等	実施状況 (実績値等)	サービス状況 (課題・達成度)
施設維持管理業務	清掃・保守点検	施設および附属設備等の保守点検等維持管理に関する業務	仕様書に基づき、適正に実施しました。	施設内外の日常清掃・点検を徹底し、大きなトラブル・苦情等はなかった。
	修繕	協定書による小規模な修繕 (大規模改修は市が負担)	今年度、修繕はありませんでした。	予算内で適正に処理した。

項目	内容	協定事項等	実施状況 (実績値等)	サービス状況 (課題・達成度)
施設利用等許可業務	利用者数	サービスの向上を図り、利用者の増加に努める	地域福祉交流ルーム 16,129 名 北条体育館 12,935 名 北条グランド 3,868 名 計 32,932 名	地域福祉交流ルーム 7,751 名増 北条体育館 5,697 名増 北条グランド 1,690 名増 計 15,138 名増 (前年度比)
	利用料金	北条コミュニティセンター条例第 17 条によるもの	※別添パンフレット内利用料金のとおり	
	利用率	サービスの向上を図り、利用者の増加に努める	地域福祉交流ルーム 70% 北条体育館 84% 北条グランド 23%	地域福祉交流ルーム 4%増 北条体育館 増減なし 北条グランド 2%増 (前年度比)

項目	内容	協定事項等	実施状況 (実績値等)	サービス状況 (課題・達成度)
自主事業	令和 2 年度事業計画書参照	創意工夫での事業実施	感染対策のもと市民のニーズに応え、多種多様な自主事業を展開した。	高齢者支援・子育て支援・地域交流など、市の依頼事業も含めたイベントを開催しました。
		事業実施税源の確保	市民が参加しやすいように安価な料金価格を設定した。	できるだけ安価で充実した内容の自主事業を展開した。

その他業務	施設の運営体制	本市市民の優先雇用を行う	13名、本市市民を雇用	本市市民の雇用：13名
	基本的人権の尊重	従事者が人権について正しい認識をもって業務を遂行する	人権パネル展を実施し、市民や職員にも人権意識を高めてもらう。	今後も全ての人に寄り添って業務を遂行します。
	職員研修	人権問題、個人情報保護、その他センター業務に関する必要な研修への参加および実施	当法人の職員を対象に、人権研修を実施する。	今後も、オンラインなども活用しながら、積極的に研修に参加します。 また当法人独自に職員を対象とした研修を実施します。
	個人情報保護	管理運営に係る情報の公開に関し、大東市の取扱いに準じて必要な措置を講じる	職員研修を実施し、個人情報の漏洩防止に努めた。	今後も大東市個人情報保護条例を遵守する。
	情報公開	管理運営に係る情報の公開に関し、大東市の取扱いに準じて必要な措置を講じる	適正に措置を講じました。	今後も大東市情報公開条例を遵守する。
	事故等への対応	①緊急事態、不測の事態には適切な措置を講じ、関係機関への連絡を行う。 ②緊急時、防災・防犯対策マニュアル作成と従事者への周知	①緊急時の連絡網の作成。 ②防災・防犯対策マニュアルの作成。 ③各緊急事態を想定した訓練の実施。	引き続き職員の啓発、訓練などにより非常時の誘導や応急処置の向上に務める。
	環境問題	大東市地球温暖化対策実行計画の協力	①使用がない各階の節電 ②冷暖房設備の適正な使用および温度設定 ③エコキャップ回収活動への協力	大東市が取り組んでいる地球温暖化対策だけでなく、地域と連携して環境問題に取り組む。

(2) 利用者満足度

① 利用者アンケートの項目・実施結果

・地域交流ルーム・北条体育館・北条グラウンドの利用者にアンケート用紙を配布し、「どこで知り得たか」「お気づきの点は」「ご意見・ご要望」などに記入してもらいました。

結果＝「職員の接遇」「施設の清潔さ」などについては好評の声をいただき、結果に基づいて利用者のニーズに応えられるような事業を展開できました。

② 市民から意見・要望等

トイレに暖房設備の設置・会議室に鏡の設置・バスケットゴール昇降機の自動化・体育館に冷房設備の設置・Wi-Fi 設備の設置などの要望がアンケートに記載されていました。市民の皆様に快適にご使用いただくためにも、できる範囲でご要望にお応えしていきたいと思えます。

(3) 収支状況

※別途決算書のとおり

2. 総合評価

① 業務内容（運営業務、施設維持管理業務、施設利用等許可業務）について評価

令和 4 年度も引き続き新型コロナウイルス感染症は、終息せず周期的に感染者の増減を繰り返す中、当センターでは利用者にも感染対策にご協力頂きながら休館することなく、運営することができました。

地域交流ルームでは、部屋の人数制限も解け感染対策を行いながらではありますが、多くの方に利用していただきました。

北条体育館でも利用者には感染対策にご協力頂きながら多くの方に利用していただきました。

北条グラウンドは、平日の利用が少ないので、利用者が増える宣伝方法が必要だと考えています。

今後も、協定書、仕様書、事業計画に沿った運営を行い、市民サービス向上を意識した管理運営に努めて参ります。

② 業務内容（自主事業、その他業務）について評価

地域交流ルーム：感染対策を徹底しながらではありますが、今年度は事業を中止することなく多くの方に参加いただきました。

北条体育館・北条グラウンド：感染者が急増し、中止せざるを得なかった事業もありましたが、ウォーターガンサバイバルや「こころと健康ネットワーク大東（共催）」など新たな事業をおこない、多くの方に参加していただきました。当センターを知ってもらうきっかけになったと思います。今後も、自主事業の質を高め、参加者が安心安全に楽しめる事業を行います。

利用者満足度について評価

アンケートを実施。その結果、施設利用者からは施設の清潔度や職員の接遇など好評を得ています。

設備に関しては、Wi-Fi 等利用できないこともあります。できるだけ設備などを整えていきたいと考えています。

次年度も、利用者のニーズを拾い上げ施設運営に活かしていきます。

収支状況について評価

昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の状況は治まる兆しはありませんでしたが、休館することなく運営することができたので、安定した収支に繋がりました。またカラオケが再開するとより安定した収入に繋がると考えています。今後、より適切な維持管理を行い、健全な収支状況に努めてまいります。